



大宮市民局 NEWS



おおみや トピックス

第6号

左の写真は、大宮町五十河

小町公園のスイレンです。

猛暑の中を涼しげに咲いています。

〈発行 大宮市民局〉

農業の多面的機能の維持・発揮を図る活動を行う「京都府農地・水・環境保全向上

「大宮町広域協定運営委員会」視察受入れ

8/5



米の収穫は、3日ほどで消費され、当日は、三重・森本里力再生協議会の方々と大学を訪れ、おいしいそうに食べる学生の様子を見ておられました。

地域で用意された570kgの米は、3日ほどで消費され、当日は、三重・森本里力再生協議会の方々と大学を訪れ、おいしいように食べる学生の様子を見ておられました。

期間中、食堂で提供される米をすべて「ゲンゴロウ郷の米」に統一し、三重・森本地域の米の美味しさを知ってもらいPRするのが目的で、当地域で活動している龍谷大学政策学部の子生と龍谷大学生協の協力で実現しました。

三重・森本地域で栽培している「ゲンゴロウ郷の米」を、龍谷大学深草キャンパス内の学生食堂で提供し、学生たちに食べてもらうイベントが開催されました。

ゲンゴロウ郷の米フェスタへ三重・森本

7/15



おおみや苑駐車場にて、第19回おおみや苑夏祭りが開催されました。現在大宮南地域で活動している芸人「きやろつときやべつ」が夏祭りMCを務め、大宮児童合唱団の歌、職員のダン

第19回おおみや苑夏祭り開催

7/25

対策協議会」より、中丹エリアを中心とした約30人が、「大宮町広域協定運営委員会」を視察に訪れました。

「大宮町広域協定運営委員会」は多面的機能支払交付金事業について、町内の5地区の構成によつて、4月に発足しました。



ス、ビンゴゲームなどで大盛況でした。模擬店運営には地域の方や高校生も携わり、開会から数時間で完売となりました。また、幅広い世代の来場者の中には「大きくなったなあ」などと再会を喜ぶ声が多く見られ、さらに子ども達の成長や高齢者の顔合わせができるよい機会だという声がありました。

まんぐるわ三重・森本 弁当の試作

7/31

地域食材を使用した取組みの一環として、「まんぐるわ三重・森本」が弁当の試作に取組んでいます。

地域が主体となり、今後の活動の中で、価格・量・味などの市場調査を試験的に行うとのことで、大宮庁舎で弁当の販売を行いました。正午を過ぎると長い行列ができ、数十個の弁当はすぐに売り切れました。今後定期的に実施される予定です。



大宮町の人口

令和元年6月末日現在

大宮町人口	(人)
0歳～14歳	1,349
15歳～64歳	5,870
65歳～	3,005
合計	10,224

【参考】	(人)
京丹後市人口	54,583